



本校の授業改善に向けた視点～校内研究を中心に～				
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>研究主題 「運動の楽しさや喜びを味わい、主体的・協働的に取り組む児童の育成～運動や健康の課題を解決するために～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動の特性や魅力に応じて運動の基本的な技能を身に付けさせる指導法の工夫 ○「主体的・協働的」な学習活動の工夫 ○体育的活動(長縄・持久走・短縄)の実施 ○オリンピック・パラリンピック教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数を極力減らさず、研究授業の時間を確保するために、月1回の校内研究日を基本とし、小中一貫研修会で校内研の内容を行ったりするなどの工夫をする。 ○中休みを5分延長し、25分間に設定する。(原則外遊び) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員が研究授業を行い、教員一人一人が児童の確かな学力の育成に向けて、授業改善に取り組む。 ○小中一貫教育実践校の研究を生かし授業に取り入れる。 ○日常の授業観察では、指導案を作成し、校内で公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいに則して評価計画を作成し、個に応じた評価を行う。 ○指導者が適切な支援を行うとともに、児童相互にかかわりをもたせ、自分の取組を振り返らせる。 ○学習カードをもとに、指導者がその時間の活動を評価すると共に、次時へ向けての助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲示板やホームページで研究授業の様子を伝えたり、学習で使用したワークシートに保護者の記入欄を設けたりして、家庭、地域への啓発をしていく。 ○学校関係者評価を授業改善に生かす。 ○体力テストの結果、課題解決のための取組を明らかにし、実践する。